



○内容 ボランティアガイドの方や職員の説明で、一緒に園内を散策します。  
申し込み不要。もちろん無料です。貴方は何を見つけられるでしょう。

◆4月1日(土) 野草園の開園日…入園記念に、花の苗(オキナグサの予定)をプレゼントします  
(先着 100 名)。

今年も野草園写真展を、4月1日(土)～4月23日(日)の23日間“紅の蔵”で開催します。近くにお越しの際は、写真展にぜひお立ち寄りください。

#### ◆4月のガイドウォーキング

4 / 1 (土) 4 / 2 (日) 4 / 9 (日) 4 / 16 (日)

4 / 22 (土) 4 / 23 (日) 4 / 29 (土) 4 / 30 (日)

◇時間 … ①回目 10:00～11:00 ②回目 11:00～12:00

③回目 13:00～14:00 ④回目 14:00～15:00

◇内容 … 植物に詳しいスタッフが、お客様に園内の植物を説明しながら一緒に歩きます。  
植物を見る目が変わりますよ。(予約不要、無料)

※ガイドウォーキングは、毎週日曜日と祝日に予定していますが、花の見所の多い無休期間(4月第3月曜日～6月第2月曜日)と9月は、土・日と続けて実施しますので、楽しみにお越しください。

#### ◆案内ボランティア研修 全10回

4/22(土)4/30(日) 5/27(土) 6/10(土) 6/24(土) 7/15(土) 8/19(土) 9/10(日) 9/23(土) 10/28(土)

◇内容 … 園内を散策しながら、植物等の案内の仕方を研修します。平成30年度以降のボランティア案内に継続して参加できる方を対象とします。

◇事前申込み 先着 20 名。申込みは 3/15～ 参加は無料。

◆4/15(土)…「バードウォッチング」 時間:AM9:15～11:15 講師:小林 彰 氏

持ち物:双眼鏡(貸出あり) 費用:入園料のみ 申し込みは電話で、先着20名。

◆4/16(日)…「カストムシの育て方教室」 時間:AM10:00～11:00 講師:千葉 和人 氏

内容:幼虫2匹、朽木マット、ケースは配布し、育て方を学びます。

対象:小学生の親子 先着20組 費用:500円(入園料別) 申し込みは電話で野草園へ。

## 春を知らせる花たち

…… 咲いている花、もうじき咲く花



#### マルバマンサク(マンサク科)

マンサクが、太平洋側に多いのに対して、マルバマンサクは、日本海側に多く、積雪地に適応したタイプのようなようです。花はマンサクと同じですが、葉の上半部が丸いのが特徴です。線形で黄色の花弁と紫紅色の萼が良く目立ちます。春に先駆けて「まず咲く」ので、マンサクといわれています。まだ花びらが伸びきっていませんが、もうじき見頃です。



### ザゼンソウ(サトイモ科)

ミズバショウよりも一足早く、「ミズバショウの谷」に顔を出しました。花の様子が、僧が座禅をしているように見えるため、この名があります。別名ダルマソウとも言われています。紫褐色の花のように見えるものは、仏炎苞と言われます。中の頭のような楕円形の部分が花序ですが、なかなか頭をこちらにむけてくれません。



### ヤマネコヤナギ(ヤナギ科)

別名バッコヤナギで、樹皮は丈夫なので縄の代用にしたそうです。写真は冬の上着を脱いだばかりの花の様子で、銀白色に輝いています。花芽が紅褐色だったということがわかります。もう少したつと、雄花は黄色くなり、雌花は淡緑色になります。ヤマネコヤナギでつくったまな板は最高だそうです。山の斜面に普通に見られます。



### フキノトウ(キク科)

淡緑色の苞に包まれたフキの若い花茎がフキノトウです。雌雄異株なので、よく見ると頭花の色が違います。黄色っぽいのが雄株で、白っぽいのが雌株です。フキノトウは、春の山菜として人気があります。特有の香りとほろ苦い味は、カリウムとポリフェノール化合物のクロロゲン酸によるものだそうです。



### フクジュソウ(キンポウゲ科)

雪が解けると、土の中からいち早く咲き出すのがフクジュソウです。落葉樹林の中で春早く花を咲かせて実を結びます。福寿草や長寿草、元日草など、縁起のよい名前がたくさんあります。金属光沢のある黄色い花は、春の光をいっぱいあびて大きく開花しています。パラボラアンテナのような形の花の中は暖かく、虫たちの憩いの場所です。



### アセビ(ツツジ科)

ツツジ科の低木であるアセビは、白い壺形の小さな花を下向きにたくさんつけています。牛馬が食うと麻痺するというので「馬酔木(あせび)」となったようです。葉も光沢のある緑色で見ごたえがあります。葉の煎汁は駆虫剤にもなります。花は美しいが有毒植物です。「吉林の庭」に咲いています。



### リュウキンカ(キンポウゲ科)

金色の花が、立った茎に咲くので「立金花」と言われています。湿地や沼地に生える多年草で、葉はフキのようなまるい形をしています。黄色の花のように見えるのは、花弁状の萼片で、花弁はありません。「クリンソウの谷」に咲いています。



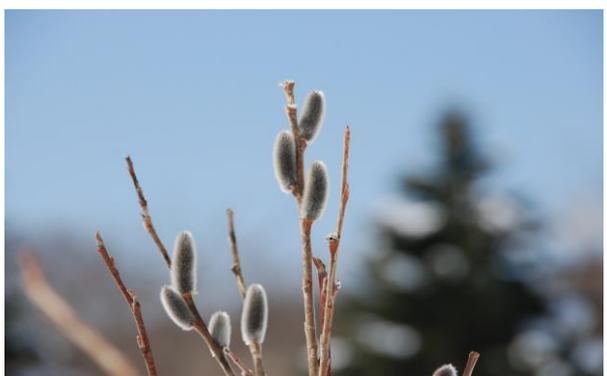
### ハンノキ(カバノキ科)

ミズバショウとザゼンソウが咲くところにハンノキ林があります。3月末には開花していました。枝先にたれさがあってついているのは雄花で、その下方に赤い小さな雌花が見えます。雄花も雌花も芽鱗に包まれず、冬芽が裸出したまま冬を越すのはハンノキの仲間の特徴です。ヤシャブシの仲間の雌花は芽鱗に包まれます。



### オオミスミソウ(キンポウゲ科)

雪解けのあと、落ち葉を押しつけて、咲いていました。雪割草とも言われています。常緑の多年草で、葉は浅く3裂し先は少しとがります。ミスミソウとスハマソウに似ていて、全体が大型です。ミスミソウ(三角草)は葉の形にもとづいたものです。「ミズバショウの谷」の木道近くの斜面に咲いています。



### ネコヤナギ(ヤナギ科)

春、真っ先に開花するヤナギのひとつです。ヤマネコヤナギのような花芽はついていません。ネコヤナギの芽鱗は一個で帽子状になっているので、すっぽりと抜け落ちます。「大平沼」の北側土手に咲いていますが、カワヤナギの別名が示すように、生育地は溪流沿いが多いようです。この後、雄花は花粉の入った葯が赤く目立ち始めます。



### オウレン(キンポウゲ科)

常緑の多年草で、葉は3出複葉です。オウレンの名は、黄色い根が横に走っているためと言われています。茎の上部に直径約1cmの白色花を1~3個つけます。花弁状の萼片とへら形の小さい花弁をつけています。根茎はベルベリンを含み黄蓮の名で胃腸薬などとして使われています。



### アズマイチゲ(キンポウゲ科)

イチリンソウの仲間で、春の短い期間だけ咲いて、初夏には枯れてしまいます。似たキクザキイチゲとは、葉に切れ込みが少なく、肩を落としているように垂れ下がっていることで見分けることができます。花弁状の萼片は白色で基部と裏側は少し紫色を帯びています。咲き始めは、葉は開いていません。山地のやや湿った木の下などに生えます。



### コシノカンアオイ(ウマノスズクサ科)

福井県～山形県の日本海側山地に固有の常緑多年草です。寒冷な季節にも葉が枯れないことから寒葵、最初の発見地が新潟県（越後の国）であることからコシノです。カンアオイの仲間は江戸時代には諸国から採集され、大いにもてはやされ栽培された時代があったそうです。



### セツブンソウ(キンポウゲ科)

旧暦の節分の頃に開花するので節分草と呼ばれていますが、野草園では雪が解けるとすぐに開花します。雪の中ですでに開花して待っているのです。白色で花弁状のものは萼片です。紫の葯を持つ雄しべが大変きれいです。春の妖精「スプリングエフェメラル」の一つです。



### ガンコウラン(ガンコウラン科)

本州中部地方以北の高山の裸地などに生育する常緑小低木。地上を這う枝はよく分枝し、線形の葉は濃緑色で密に互生します。雌雄異株で、萼・花びらともに3枚の紅紫色の小花を付けます。秋にかけて黒い球果を結び、食べられます。



### キクザキイチゲ(キンポウゲ科)

周りの木々が葉を茂らせる前にいち早く咲き出します。「キクザキイチゲ」の名からも分かるように、花弁状の萼片が多く、葉も切れ込みが多く、キクの花に似ています。花色は多彩で淡紫青色から白色までいろいろあります。日が当たると花を開き、曇ると花を閉じてしまいます。イチゲとは「一華」で、1本の茎に1個の花が咲くという意味です。